

議会の豆知識「一般質問ってなに？」

一般質問とは、議員が議案とは関係なく市長に対し、市が行う福祉や教育、インフラなどのさまざまな事業についての現況、問題点、将来の方針など幅広く質問することです。

一般質問は、市民の代表である市議会議員が市の考え方をチェックし、市民の思いや要望を市民サービスに反映させる大切な役割を果たしています。

ひとり暮らしの高齢者のための見守り電球サービスについて



田島 議員

問 これまで見守り電球サービスが機能してさまざまな課題が解決された具体的な実例と、その数は。

答 見守り電球サービスが機能した実例として、見守り電球サービスの利用している高齢者宅の電球が異常を感知し、異常発生メールを受信した友人が高齢者宅を訪問したが、安否の確認ができず心配になり、救急要請したところ、救急隊が高齢者が倒れているところを発見し、病院へ救急搬送、そのまま入院につながったという事例がある。救急搬送につながるような件数は、見守り電球サービスは、24時間点灯・消灯の動きがない場合、事前に登録された家族や知人などにメールでお知らせ

せるものであることから、具体的な対応や件数は把握していない。

問 サービスを実施したこと

答 見守り電球サービスの効果は、試行期間を通じて、高齢者の見守りとして一定の効果が確認できたものと認識している。

問 これまでのように利用者負担なしで利用できるようにする

答 利用者負担に対する市の認識は、サービスを利用する方と利用しない方の負担の公平性の観点から、受益者である利用者に負担をいただく必要があると認識している。

小学校での朝の子どもの見守り体制と安全な学校づくりについて



いそむら 議員

問 会社員時代、子供に鍵を持たせて先に家を出る生活をしており、同様の不安を抱える保護者も多くいると感じる。保育園の手厚い預かりが小学校入学と同時になくなり、働き方との両立が難しくなるのが現実である。こうしたギャップを踏まえ、切れ目のない子育て支援として、朝の居場所づくりや保護者の就労を支える取り組みが求められていると考えるが、課題意識は。

答 寄せられた意見や要望などから、ニーズは低いものと考えている。

よひ方針は。

答 見守りを担う人材や会場の確保、働き方改革への影響、また児童の心身への負担といった観点からの検討が必要となることから、現時点では困難である。

問 100%の不審者侵入防止は現実的に困難だからこそ、視覚的対策やルールの明確化により早期発見を促すことが重要である。校門付近の案内板設置や業者を含む来校者への腕章着用の徹底など不審者対策の強化が必要と考えるが、見解は。

答 校門付近への分かりやすい案内は、各学校で取り組んでいるが、各学校の実態に応じて見直す。来校者への腕章着用などは、名札を身につけさせる取り組みの徹底を図っていく。

問 朝の見守りや居場所づくりとして地域ボランティアや民間事業者などに委託を行っている自治体もあるが、今後の検討お

肺炎予防について



湯谷 議員

問 予防接種費用の助成事業における接種率向上の取り組みは。

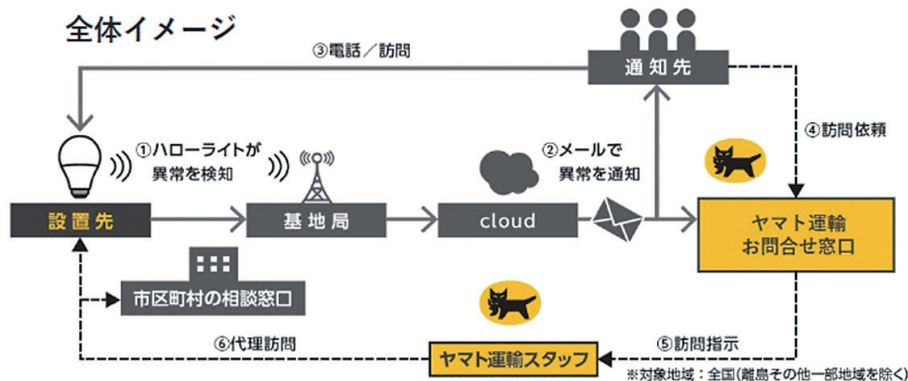
答 市ウェブサイト、広報への掲載、メール配信サービス、実施医療機関でのポスター掲示により周知を実施している。

問 肺炎になる原因は様々あるが、特に急性呼吸器感染症は、飛沫感染などにより周囲の人

問 感染症の流行の兆しをいち早く捉えるため、毎週発表される急性呼吸器感染症サーベイ

答 急性呼吸器感染症サーベイランスの活用を含め、南多摩保健所と連携しながら適宜行っ

ていきたい。



▲見守り電球サービスのイメージ

家族の介護負担を軽減する取り組みについて



佐藤 議員

問 老老介護や、主な家族介護者がビジネスケアラーやヤングケアラーである場合、そのことを理由として生活援助を利用できるようにすべきと考えるが、市の見解は。

答 市としては、家族介護者の就労の有無や年齢などにより一律に判断すべきではなく、適切なケアプランに基づき、個々の利用者の状況に応じて総合的に判断されるべきものと認識している。

問 社会問題化しているような

答 個々の利用者の状況に応じて総合的に判断がされるべきものとされていることから、市としては、これまでと同様に介護保険制度に基づいて適切に対応していく。

匿名・流動型犯罪グループと闇バイトについて



中島 議員

問 匿名・流動型犯罪グループの概要とその特徴は。

答 SNSやインターネットの掲示板などを利用して犯罪の実行犯を募集し、特殊詐欺や強盗などの様々な犯罪を広域的に行う集団で、グループの構成が常に変化するため、中核となるメンバーの特定が困難となり、捜査や摘発が非常に難しいとされている。

問 市が行っている闇バイトへの対策は。

答 窓口でのチラシ配布、行政情報モニターでの広報、青パトによる防犯パトロール、「稲城市防犯のつどい」での講演、「いまちいなぎ市民まつり」でのポケットティッシュなどの配布、市ウェブサイトでの啓発を

問 闇バイトに参加してしまっ

た本人やその家族を守るために市が行っている取り組みは。

答 広報に、「自分の家族や親族、友人が不審なアルバイトに応募していることに気付いたら、すぐに止めさせ、警察に相談してください」と記載するなど、より踏み込んだ内容で注意喚起を行い、相談窓口として多摩中央警察署生活安全課の連絡先を案内している。